A-EAK-100-**06** (1)

SONY

ネットワークカメラ

アプリケーションガイド
1.6

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故になることがあります。

このユーザーガイドには、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。
このユーザーガイドをよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、
いつでも見られるところに必ず保管してください。

IPELA

© 2012 Sony Corporation

目次

はじめに

SNC toolbox を使う 3

SNC toolbox プログラムを起動する 3
SNC toolbox の使いかた 3
デバイスを検索する 5
IP アドレスを割り当てる 6
ネットワーク設定を使う 8
マイデバイスへ登録する 9
デバイス一覧の表示方法を変更する 10
SNC toolbox のオプションを設定する 11
プライバシーマスキングを使う ― カメラ映像にマスクをかける 13
パノラマ作成を使う ― パノラマ画像を作成する 14
カスタムホームページを使う ― 独自のホームページを設定する 16
音声ファイルの作成とアップロードを使う 16
ファームウェアアップグレードを使う 20
CGI 送信を使う 20
スケジュールタスクを使う 21
デバイス設定をする 23
デバイスの再起動と初期化 23
SNC toolbox のインストール方法 23

SNC audio upload tool を使う 24

SNC audio upload tool をインストールする 24
カメラとコンピューターを接続する 24
SNC audio upload tool の使いかた 25

ファイアウォールを設定する 29

Windows Vista をご利用の場合 29
Windows 7 をご利用の場合 30
Windows 8 をご利用の場合 31

はじめに

本書は SNC toolbox などアプリケーションソフトウェアの取扱説明書です。

補足

SNC toolbox は、Sony Network Camera toolbox の略です。

ご注意

接続されるカメラによっては、使用できる機能が異なり、以下で説明される機能が表示されない場合がありますのでご了承ください。

SNC toolbox を使う

ここでは、SNC toolbox の機能を説明します。
SNC toolbox のインストール方法は「SNC toolbox のインストール方法」(23 ページ) をご覧ください。

ご注意

- お使いのコンピューターにパーソナルファイアウォールソフトウェアや、アンチウイルスソフトウェアなどを使用している場合、SNC toolbox が正しく動作しないことがあります。このような場合は、該当のソフトウェアを無効にしてください。
- Windows XP Service Pack 2 以降、Windows Vista、Windows 7、または Windows 8 をご利用の場合は、「Windows ファイアウォール機能」を［無効］にしないと SNC toolbox が正常に動作しません。設定のしかたは、「Windows Vista をご利用の場合－ Windows ファイアウォールの設定について」(29 ページ)、「Windows 7 をご利用の場合－ Windows ファイアウォールの設定について」(30 ページ)、または「Windows 8 をご利用の場合－ Windows ファイアウォールの設定について」(31 ページ) をご覧ください。
- 中国向けに販売されているモデルには SSL 機能は搭載されていません。
- カメラと SSL 通信する場合、SNC toolbox でも設定する必要があります。
  マイデバイス登録時に設定する場合は、「マイデバイスへ登録する」(9 ページ) をご覧ください。
  個別のデバイスごとに設定する場合は、「SNC toolbox の使いかた－登録デバイスの修正」(4 ページ) をご覧ください。
  複数のデバイスに一括で設定する場合は、「SNC toolbox のオプションを設定する－ネットワークタブ」(12 ページ) をご覧ください。

SNC toolbox プログラムを起動する

Windows XP、Windows Vista、Windows 7 をご利用の場合、Windows の［スタート］メニューから［すべてのプログラム］、[SNC toolbox]、[SNC toolbox］の順に選択します。
Windows 8 をご利用の場合、スタート画面上でマウスの右クリックボタンを押し、画面下部に表示されたアプリバーから「すべてのアプリ」を選択します。「アプリ」画面上に表示されたアプリケーション一覧の中から［SNC toolbox］を選択します。
SNC toolbox が起動します。
メイン画面が表示され、SNC toolbox がネットワーク上に接続されているデバイスを検出してリストを表示します。

Windows Vista をご利用の場合、起動時に「ユーザーアカウント制御　(認識できないプログラムがこのコンピュータへのアクセスを要求しています)」メッセージが表示されることがあります。この場合は、「許可」をクリックしてください。

SNC toolbox の使いかた

メニューバー

すべての機能がここから選択できます。

ファイル (F) メニュー

インポート：デバイスリスト（CSV 形式）のファイルを読み込みます。
エクスポート：デバイスリストを CSV 形式のファイルにして出力します。
閉じる：SNC toolbox を終了します。

編集 (E) メニュー

カット：デバイスまたはフォルダーを切り取ります。
コピー：デバイスまたはフォルダーをコピーします。
貼り付け：デバイスまたはフォルダーを貼り付けます。
全て選択：デバイスリスト内のデバイスをすべて選択します。
フォルダの追加：フォルダーを作成します。
登録デバイスの追加：手動でデバイスを登録します。
登録デバイスの修正：デバイス情報を編集します。
クリア：1つのフォルダーからデバイスをはずします
削除：デバイスまたはフォルダーを削除します。

表示 (V) メニュー

ステータスバー：下部のステータス表示／非表示を切り換えます。
一覧：デバイスの詳細情報を表示します。
静止画（小）：小さいサムネイル付きでデバイスの詳細情報を表示します
静止画（大）：大きいサムネイルでデバイスを一覧表示します。
カラムの設定：リストに表示する項目を設定する画面を表示します。
表示シリーズの選択：リストに表示するシリーズを選択する画面を表示します。

ツール (T) メニュー

検索：デバイスの再検索を行います。
外部ネットワークのデバイスを検索する機能を有効にすることで、検索範囲を広げることができます。
機能の設定は、［ツール］から［オプション］をクリックし、［ネットワーク］タブの［検索設定］から可能です。
デバイスアカウント：デバイスのユーザー名とパスワード管理の画面を表示します。
ネットワーク設定：デバイスのアドレス設定変更の画面を表示します。
デバイス設定：デバイスの設定画面を表示します。
プライバシーマスキング：プライバシーマスキング画面を表示します。
パノラマパネル：パノラマ作成画面を表示します。
カスタムホームページ：カスタムホームページ画面を表示します。
音声ファイル：
作成：音声ファイル作成画面を表示します。
アップロード：音声ファイルアップロード画面を表示します。
ファームウェアアップグレード：ファームウェア　アップグレード画面を表示します。
CGI 送信：CGI 送信画面を表示します。
デバイス初期化：
再起動：デバイスを再起動します。
工場出荷設定：工場出荷状態に初期化します。
設定データのバックアップ：設定データをコンピューターにバックアップします。
設定呼び出し：バックアップした設定データをデバイスに呼び出します。
デバイスのホームページ：デバイスに接続します。
デバイスログ：
システムログ：デバイスのシステムログを取得します。
アクセスログ：デバイスのアクセスログを取得します。
デバイスログダウンロード：デバイスのログをダウンロードします。
ツールログ：SNC toolbox のログを取得します。
オプション：SNC toolbox の設定変更の画面を表示します。

タスク (K) メニュー

タスクリスト：タスクリスト画面を表示します。
タスクの追加：タスクウィザード画面を表示します。
タスクの修正：タスクの編集画面を表示します。
タスクの削除：タスクを削除します。

ヘルプ (H) メニュー

ティップス：SNC toolbox のティップスを表示します。
バージョン：SNC toolbox のバージョン情報を表示します。

ファンクションボタン

リストを更新したりダイアログを表示させたりするときに使います。

検索

検索結果のデバイスリストを更新します。

アカウント

デバイスごとに管理者ユーザーを設定します。

ネットワーク

［ネットワーク設定］ダイアログを表示します。

マスキング

［プライバシーマスキング］ダイアログを表示します。

パノラマ

［パノラマ作成］ダイアログを表示します。

カスタムホームページ

［カスタムホームページ］ダイアログを表示します。

アップグレード

［アップグレード］デバイスのファームウェアを更新します。

設定

デバイスの設定画面を表示します。

タスク

［タスクリスト］ダイアログを表示します。

デバイスツリー表示

フォルダーのカスタマイズをすることができます。また、マイデバイスの登録状況をツリー形式で表示することができます。

検索結果フォルダー

このフォルダーを選択すると、デバイスリストに、起動時または［検索］によって検索されたネットワーク上のデバイスが表示されます。
表示可能なカメラの数は最大 1024 台です。

エラーフォルダー

このフォルダーを選択すると、デバイスリストに、マイデバイスフォルダーに登録したデバイスに接続できない時に、接続できないデバイスが表示されます。
また、登録しているデバイスがネットワーク上で見つからなかった場合にこのフォルダーに登録されます。

マイデバイスフォルダー

このフォルダーを選択すると、デバイスリストに、検索結果フォルダーまたは手動により登録されたデバイスが表示されます。

デバイスリスト

デバイスツリー表示で選択したフォルダーに登録されたデバイスが一覧表示されます。

デバイス名

個別に設定したデバイスの名称を表示します。

状態（エラー、マイデバイスフォルダーのみ）

現在の接続状況が確認できます。

MAC アドレス

デバイスの MAC アドレスが確認できます。

デバイスアドレス

デバイスの IP アドレスが確認できます。

ポート番号、HTTP ポート番号

デバイスのポート番号が確認できます。

DHCP/ 固定 IP

デバイスの IP アドレスが DHCP と固定 IP のどちらなのかを表示します。

クライアント証明書

SSL で使用するクライアント証明書の名前を表示します。

モデル名

機種名を表示します。

シリアル

シリアル番号を表示します。

バージョン

ファームウェアのバージョンを表示します。

管理者名

管理者ユーザー名を表示します。

NIC の IP アドレス（検索結果フォルダーのみ）

デバイスを検出した NIC（ネットワークカード）の IP アドレスを表示します。

補足

- SSL 通信が行われているカメラは IP アドレスの左側に が表示されます。
- 中国向けに販売されているモデルには SSL 機能は搭載されていません。

ビューボタン

デバイスリストの表示形式の切り換えができます。（10 ページ）

デバイスを検索する

［検索］をクリックすることで、ネットワーク上に接続されているネットワークデバイスを検出することができます。初期状態では、同一のネットワークセグメントに存在するデバイスを検出しますが、検索設定をすることで、ネットワークセグメントを越えてデバイスを検索できます。
検索設定は、「SNC toolbox のオプションを設定する − ネットワークタブ − 検索設定」（12 ページ）をご覧ください。
SNC toolbox では、デバイスを定期的に検索しています。検索の状態は、［検索］ボタンから判断できます。

検索中

定期的にネットワーク上からデバイスの検出を行い、デバイスリストを自動更新しています。検索を停止する場合、クリックしてください。

検索停止

検索を停止しています。検索を再開する場合、クリックしてください。

検索範囲を広げたい場合

検索設定をしてください。

1 ［ツール］から［オプション］をクリックする。

2 ［ネットワーク］タブをクリックする。

3 ［検索設定］の［外部ネットワークのデバイスを検索する］をチェックする。

より検索範囲を広げたい場合、TTL の値を大きくしてください。

補足

正しく検索設定をしてもデバイスが検索されない場合、「SNC toolbox のオプションを設定する－ ネットワークタブ－ 検索設定」（12 ページ）の **ご注意** をご覧ください。

IP アドレスを割り当てる

ネットワークを介してデバイスに接続するためには、デバイスに新しい IP アドレスを割り当てる必要があります。初めてデバイスを設置したときは、デバイスに IP アドレスを割り当ててください。

デバイスリストからネットワーク設定するデバイスを選択し、［ネットワーク］をクリックすると、［ネットワーク設定］ダイアログが表示されます。このダイアログは、［基本設定］、［IPv6 設定］の 2 種類のタブで構成されます。

基本設定タブ（デバイスリストからデバイスを単数選択時）

デバイスリストから選択した一デバイスのネットワーク情報（IPv4）の設定が可能です。

端末一覧：IPv4 に対応するデバイスを表示します。
設定するデバイスを選択し、設定後に端末一覧は自動的に更新されます。

IP アドレスを自動的に取得する：DHCP モードをオンに設定します。

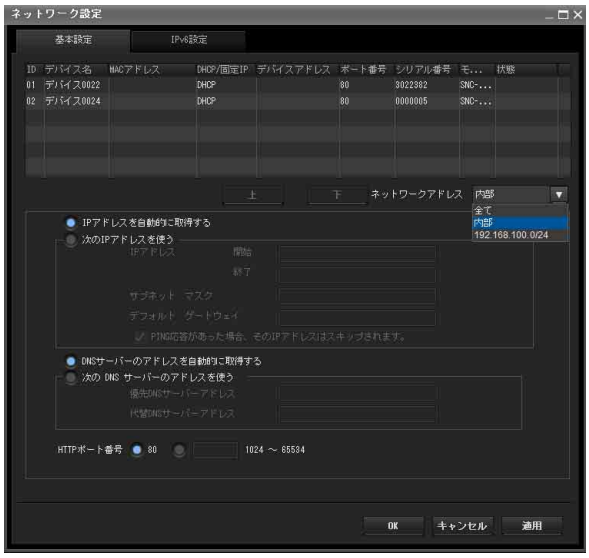
次の IP アドレスを使う：DHCP モードをオフに設定します。設定した場合、固定アドレスを指定するため、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを指定してください。また、「PING の応答があった場合、その IP アドレスはスキップされます。」にチェックをすることで、指定した IP アドレスが既に使用されているかどうかを判断します。

DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する：DNS モードをオンに設定します。

次の DNS サーバーのアドレスを使用する：DNS モードをオフに設定します。設定した場合、優先 DNS サーバーアドレス、代替 DNS サーバーアドレスを指定してください。

HTTP ポート番号：通常は 80 を選択します。80 以外を設定するときは、テキストボックスを選択し、ポート番号を入力してください。

基本設定タブ（デバイスリストからデバイスを複数選択時）

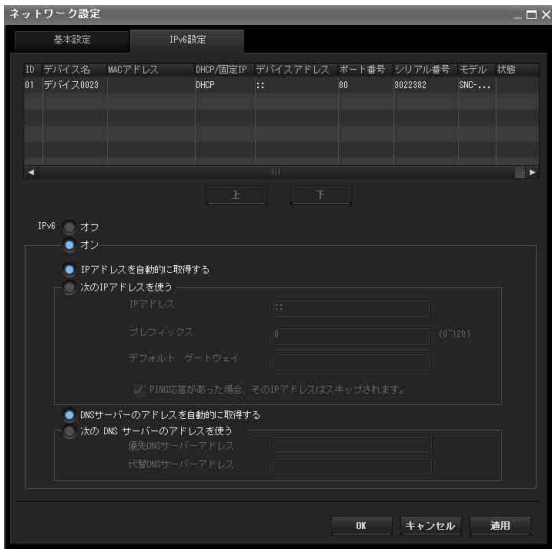


デバイスリストから選択した複数デバイスのネットワーク情報（IPv4）の設定が可能です。
複数選択したデバイスに応じて、単数選択時の［基本設定］タブとは、以下の違いがあります。

次の IP アドレスを使う：DHCP モードをオフに設定し、開始と終了の IP アドレスを指定することで、連続した IP アドレスを設定することができます。

ネットワークアドレス：デバイスリストから複数のデバイスを選択した場合、かつ、複数のネットワークアドレスが存在する場合に表示されます。設定したいデバイスが存在するネットワークアドレスを選択することにより、一括設定が可能となります。

IPv6 設定タブ（デバイスリストからデバイスを単数選択時）



デバイスリストから選択した一デバイスのネットワーク情報（IPv6）の設定が可能です。

端末一覧：IPv6 に対応するデバイスを表示します。設定するデバイスを選択し、設定後に端末一覧は自動的に更新されます。

IPv6：デバイスの IPv6 モードの切り替えができます。

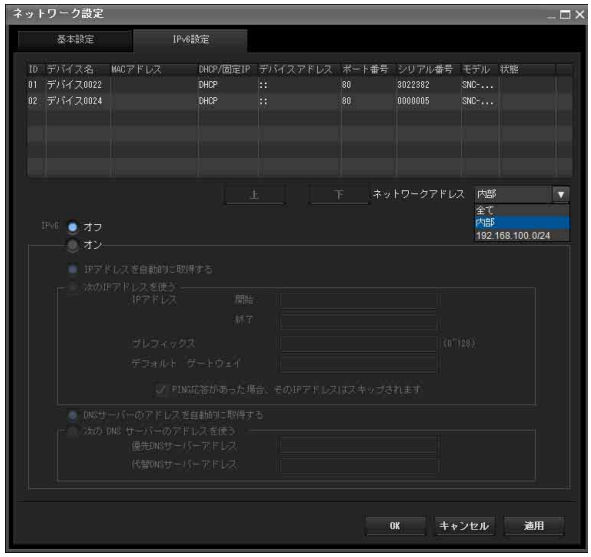
IP アドレスを自動的に取得する：DHCP モードをオンに設定します。

次の IP アドレスを使う：DHCP モードをオフに設定します。設定した場合、固定アドレスを指定するため、IP アドレス、プレフィックス、デフォルトゲートウェイを指定してください。また、「PING の応答があった場合、その IP アドレスはスキップされます。」にチェックをすることで、指定した IP アドレスが既に使用されているかどうかを判断します。

DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する：DNS モードをオンに設定します。

次の DNS サーバーのアドレスを使用する：DNS モードをオフに設定します。設定した場合、優先 DNS サーバーアドレス、代替 DNS サーバーアドレスを指定してください。

IPv6 設定タブ（デバイスリストからデバイスを複数選択時）



デバイスリストから選択した複数デバイスのネットワーク情報（IPv6）の設定が可能です。
複数選択したデバイスに応じて、単数選択時の［基本設定］タブとは、以下の違いがあります。

次の IP アドレスを使う：DHCP モードをオフに設定し、開始と終了の IP アドレスを指定することで、連続した IP アドレスを設定することができます。

ネットワークアドレス：デバイスリストから複数のデバイスを選択した場合、かつ、複数のネットワークアドレスが存在する場合に表示されます。設定したいデバイスが存在するネットワークアドレスを選択することにより、一括設定が可能となります。

ネットワーク設定を使う

1 デバイスリストから IP アドレスを割り当てたいデバイスを選択して、［ネットワーク］をクリックする。
アカウント設定画面が表示されます。

2 ログインする管理者の名前とパスワードを入力し、［OK］をクリックする。
工場出荷時は両方とも「admin」に設定されています。
ネットワーク設定画面が表示されます。

3 IP アドレスを設定する。

IP アドレスを DHCP サーバーから自動的に取得するときは
［IP アドレスを自動的に取得する］を選択します。
IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイが自動的に割り当てられます。

ご注意

［IP アドレスを自動的に取得する］を選択する場合は、ネットワーク上で DHCP サーバーが稼動していることを確認してください。

固定 IP アドレスを設定するときは
［次の IP アドレスを使う］を選択し、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ欄にそれぞれの値を入力します。

4 DNS サーバーアドレスを設定する。

DNS サーバーアドレスを自動取得するには
［DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する］を選択します。

DNS サーバーアドレスを自動取得しないときは
［次の DNS サーバーアドレスを使用する］を選択してから、優先 DNS サーバーアドレスおよび代替 DNS サーバーアドレス欄に DNS サーバーアドレスを入力します。

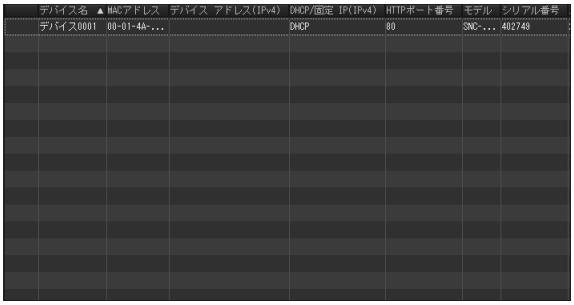
5 HTTP ポート番号を設定する。
通常は、HTTP ポート番号の［80］を選択します。
［80］以外のポート番号に設定するときは、テキストボックスを選択し、ポート番号 1024 ～ 65535 を入力します。

ご注意

ポート番号に［80］以外を指定する場合は、ネットワーク管理者にご確認ください。

6 正しく入力されていることを確認してから［OK］をクリックする。
「設定成功」が表示されれば、IP アドレスの設定は終了です。

7 設定完了後、直接デバイスにアクセスするには、リスト上のデバイス名をダブルクリックする。



Web ブラウザにネットワークデバイスのビューアー画面が表示されます。

ご注意

IP アドレスが正しく設定されていないと、手順 7 の操作をしてもビューアー画面が表示されません。また、デバイスが検索できなくなる可能性があります。この場合は IP アドレスの設定をやり直してください。

マイデバイスへ登録する

デバイスツリーには、初期値として［検索結果］、［エラー］、［マイデバイス］の３つのフォルダーがあります。［検索結果］と［エラー］の２つのフォルダーは、固定され、編集やフォルダー名の変更はできません。
［マイデバイス］フォルダーは、フォルダー名の変更やフォルダーの追加・削除・移動をすることができます。

検索結果フォルダー
検索により検出したデバイスを表示します。

エラーフォルダー
接続に失敗したデバイスを表示します。

マイデバイスフォルダー
デバイスを任意のフォルダーで分類、管理することができます。

フォルダーを追加する

1 フォルダーを追加したい親となるフォルダーを選択する。

2 マウスを右クリックし、表示されるメニューから［フォルダの追加］を選択する。
フォルダーが追加されるので任意のフォルダー名を入力してください。

デバイスを登録する

デバイスの登録のしかたには、以下の方法があります。
・「登録デバイスの追加」ダイアログで登録する
・ ドラッグアンドドロップで登録する
・ コピーアンドペーストで登録する

「登録デバイスの追加」ダイアログによる登録

1 デバイスを登録するフォルダーを選択する。

2 マウスを右クリックし、表示されるメニューから［登録デバイスの追加］を選択する。
「登録デバイスの追加」ダイアログが表示されます。

3 以下の項目を入力する。
デバイス名：任意のデバイス名を入力します。
デバイスアドレス：登録するデバイスのアドレスを入力します。通常は［シングルデバイス］を選択します。指定された IP アドレスの範囲内に複数のカメラがある場合は、［マルチデバイス］を選択します。
HTTP ポート番号：通常は 80 を選択します。80 以外を設定するときは、テキストボックスを選択し、ポート番号を入力してください。
HTTPS ポート番号：通常は、443 を選択します。443 以外を設定するときは、テキストボックスを選択し、ポート番号を入力してください。
プロトコル：デバイスと通信するプロトコルを HTTP、HTTPS から選択します。
クライアント証明書：SSL のクライアント認証を使用するときに設定します。
HTTPS を選択したときに有効になります。
デフォルトの証明書：［ツール］メニューの［オプション］にある［ネットワーク］タブの［毎回使用するクライアント証明書］を使用します。
IE の証明書：［IE の証明書 ...］ボタンをクリックしてインターネットエクスプローラーに登録されている証明書を選択する。
デバイスアカウント：デバイスにアクセスする管理者のユーザー名を［管理者名］欄にパスワードを［管理者パスワード］欄に入力してください。

4 ［OK］をクリックして、登録する。

ドラッグアンドドロップによる登録

検索結果フォルダーのデバイス一覧から登録したい機器を選択し、登録したいフォルダーにドラッグアンドドロップすると、デバイスが追加されます。

コピーアンドペーストによる登録

検索結果フォルダーのデバイス一覧から登録したい機器を選択し、マウスを右クリックし表示されるメニューから［コピー］を選択（または［編集］メニューから［コピー］を選択）します。つぎに、登録したいフォルダーを選択し、マウスを右クリックし表示されるメニューから［貼り付け］を選択します。

デバイス／フォルダーの名前を変更する

名前を変更したいフォルダーまたはデバイスを選択し、マウスを右クリックし表示されるメニューから［名前の変更］を選択すると、デバイス／フォルダー名が反転状態になります。その状態で新しい名前を入力してください。

デバイス／フォルダーを削除する

デバイス一覧またはデバイスツリーから削除したいデバイス／フォルダーを選択し、マウスを右クリックし表示されるメニューから［削除］を選択（または［編集］メニューから［削除］を選択）します。

デバイス／フォルダーを移動する

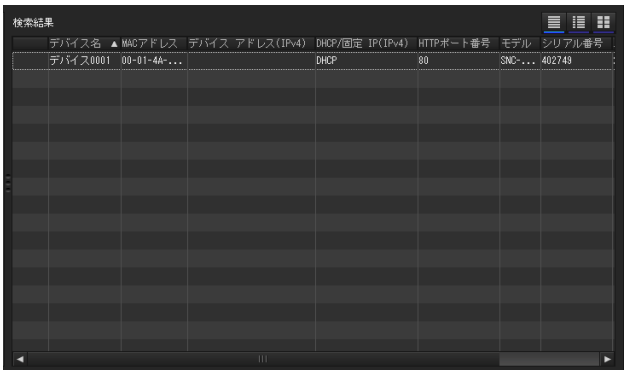
以下のいずれかの方法が可能です。

- デバイス一覧／デバイスツリーから移動したい機器を選択し、移動したいフォルダーにドラッグアンドドロップすると、デバイスまたはフォルダーが移動します。
- デバイス一覧／デバイスツリーから移動したい機器を選択し、マウスを右クリックし表示されるメニューから［カット］を選択（または［編集］メニューから［カット］を選択）します。つぎに、移動したいフォルダーを選択し、［貼り付け］を選択します。

デバイス一覧の表示方法を変更する

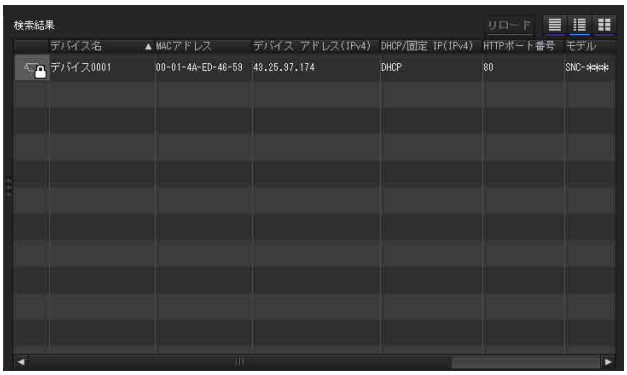
詳細表示にする

［表示］メニューから［一覧］を選択するか、 をクリックすると詳細表示になります。



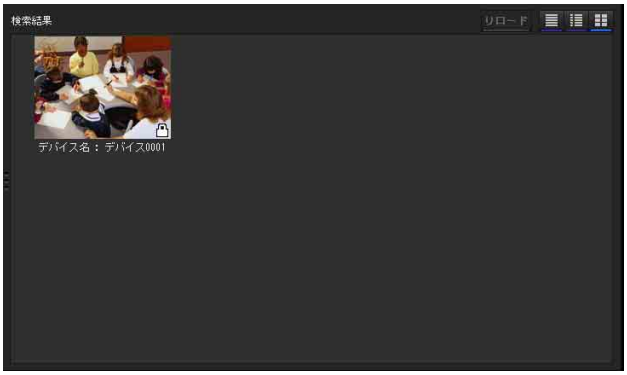
サムネイル付きの詳細表示にする

［表示］メニューから［静止画（小）］を選択するか、 をクリックするとサムネイル付きの詳細表示になります。



大きいサムネイルの表示にする

［表示］メニューから［静止画（大）］を選択するか、 をクリックすると大きいサムネイルの表示になります。



リストに表示する項目を変更する

［表示］メニューから［カラムの設定］を選択すると、「カラムの設定」ダイアログが表示されます。

表示したい項目にチェックすると表示、チェックをはずすと非表示になります。
設定変更後に［OK］をクリックすると、設定がリストに反映され、メイン画面に戻ります。

リストに表示するシリーズを変更する

［表示］メニューから［表示シリーズの選択］を選択すると、［表示シリーズの選択］ダイアログが表示されます。

シリーズにチェックすると表示、チェックをはずすと非表示になります。
設定変更後に［OK］をクリックすると、設定がリストに反映され、メイン画面に戻ります。

ご注意

・［表示シリーズの選択］ダイアログでは、検索停止中に表示するシリーズを追加すると、一時的に検索を行います。
・［表示シリーズの選択］は検索結果フォルダにのみ反映されます。

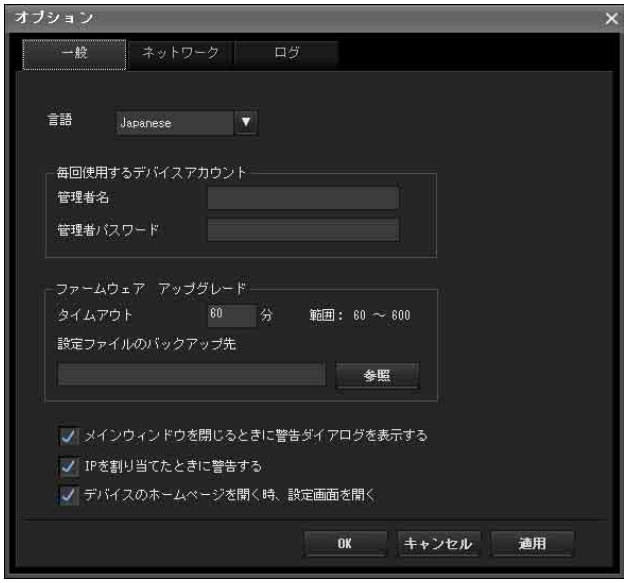
サムネイル画像を更新する

サムネイルを表示させ更新したいカメラを選択し、［再読み込み］をクリックすると現在のカメラの映像をサムネイルとして表示します。

SNC toolbox のオプションを設定する

［ツール］メニューから［オプション］を選択すると、「オプション」ダイアログが表示されます。このダイアログは、［一般］、［ネットワーク］、［ログ］の 3 種類のタブで構成されます。

一般タブ



言語

言語の設定をします。

毎回使用するデバイスアカウント

デバイスごとに、アクセスする管理者のユーザー名とパスワードの初期値を設定します。

ファームウェア　アップグレード

ファームウェアアップグレードに関する設定をします。

[タイムアウト]：ファームウェアアップグレード時のデバイスのタイムアウトの設定をします。

[設定ファイルのバックアップ先]：アップグレード時の設定ファイルの保存先を指定します。［参照］をクリックするとフォルダー選択ダイアログが表示され、保存するフォルダーを選択します。

[メインウィンドウを閉じるときに警告ダイアログを表示する]：警告メッセージを表示する場合に選択します。
[IP を割り当てたときに警告する]：警告メッセージを表示する場合に選択します。
[デバイスのホームページを開く時、設定画面を開く]：設定画面を直接開く場合に選択します。

ネットワークタブ

HTTP プロキシと FTP プロキシの設定をします。
HTTP プロキシを使用する場合は、［HTTP プロキシを使用する］をチェックします。
FTP プロキシを使用する場合は、［FTP プロキシを使用する］をチェックします。
自動構成や例外などを含めたプロキシ設定を Internet Explorer から取得する場合は、［Internet Explorer の設定取得］を［オン］にしてください。
Internet Explorer から取得しない場合は、［Internet Explorer の設定取得］を［オフ］にし、プロキシサーバーアドレスとプロキシサーバーポート番号を入力してください。

IP 設定

検索結果フォルダーで使用する IP アドレスを選択します。

［IPv4］：IPv4 を使用します。

［IPv6 優先］：IPv6 を使用します。ただし、IPv6 が設定されていないデバイスは IPv4 を使用します。

検索設定

［検索］における検索範囲を設定します。

［外部ネットワークのデバイスを検索する］：同一ネットワークセグメントを越えて検索をする場合、チェックしてください。

［TTL］：［外部ネットワークのデバイスを検索する］を有効時に、検索範囲を設定します。

ご注意

・ネットワークセグメント外のデバイスが検索されなかったときは以下の項目を確認してください。
- マルチキャストを使用して検索するためルーターのマルチキャスト設定を確認してください。
- 検索対象のデバイスに IP アドレスが正しく設定されているか確認してください。
- デバイスに SSL 設定がされている場合、ネットワークセグメント外のデバイスとして検索できません。デバイスの SSL 設定を無効にしてください。

・［外部ネットワークのデバイスを検索する］を有効にするとネットワーク上にマルチキャストパケットが定期的に流れるため、ネットワークへの負荷がかかります。

SSL 設定

SSL の設定を行います。

［毎回使用するクライアント証明書］：使用するクライアント証明書を入力します。

［スケジュールされたタスクかメインウィンドウでの SSL エラーの処理方法］：［続ける］または［キャンセル］を選択します。

［デバイスの SSL 機能が SSL 接続のみの場合、HTTP プロトコルから HTTPS プロトコルへ自動的に接続する］：必要に応じてチェックしてください。

ご注意

・SSL の設定を変更したときは、SNC toolbox を再起動してください。
・中国向けに販売されているモデルには SSL 機能は搭載されていません。
・SSL の設定はマイデバイスに登録しているデバイスのみ、有効になります。

ログタブ

一番古いログファイルを上書きする

ログファイルのサイズを設定する場合は、［有効］をチェックし、ファイルサイズの空き容量の最低限度を指定します。

ログ出力フォルダ

［参照］をクリックするとフォルダー選択ダイアログが表示されます。ログの保存先フォルダーを指定します。

プライバシーマスキングを使う — カメラ映像にマスクをかける

SNC toolbox のプライバシーマスキング機能を使うと、配信される映像の任意の場所にプライバシーマスクをかけて映像を隠すことができます。

1 デバイスリストでプライバシーマスクを設定するカメラを選択する。

2 ［マスキング］をクリックする。

プライバシーマスキングの使いかた

プライバシーマスキングは、プライバシーマスク位置を設定するプライバシーマスキング 画面で構成されています。

［マスキング］をクリックするとプライバシーマスキング画面が表示されます。

プライバシーマスキング画面

PTZ 機能が無効な場合

PTZ 機能が有効な場合

ビューアー
接続したカメラのライブ映像が表示されます。このエリア上でプライバシーマスク位置を指定します。

数字
設定されているマスクの番号をビューアーに表示します。

四角
設定されているマスクの枠を表示します。マスクが重なって設定されている場合に見やすくなります。

全体画像エリア
全体画像（パノラマ機能がサポートされているカメラではパノラマ画像）が表示されます。
全体画像上に、設定されているプライバシーマスク位置が番号で表示されます。
任意の点をクリックすると、クリックした場所にカメラが移動します。

ご注意
全体画像を作成していない場合、デフォルト画像が表示されます。

PTZ コントローラー
カメラのパン、チルト、ズーム操作を行うことができます。

パン、チルト操作
移動したい方向の矢印をクリックします。矢印を押し続けると連続的にカメラの向きが移動します。

ズーム操作
Wide をクリックするとズームアウトを、Tele をクリックするとズームインをします。ボタンを押している間ズーム動作が続きます。
をクリックすると Wide 端までズーム移動を行います。
T をクリックすると Tele 端までズーム移動を行います。
現在のズーム位置はズームバーに表示されています。
左端が Wide 端で右端が Tele 端となります。

プライバシーマスク設定欄
プライバシーマスクの登録、消去ができます。

[セット]：ビューアー上で指定したエリアをプライバシーマスク領域として設定します。
［セット］をクリックすると、ビューアー上にプライバシーマスクが反映されます。［色］リストボックスで選択されている色がプライバシーマスクの色として設定されます。

ご注意
マスク範囲が画面下端に達した場合、画面下端の背景が見える場合があります。

[クリア]：クリックすると、設定されているプライバシーマスクを削除します。

色
プライバシーマスクの色を指定します。この設定はすべてのプライバシーマスクに共通です。

全てクリア
クリックすると、設定されているプライバシーマスクをすべて、削除します。

プライバシーマスクを設定する

以下の手順で、任意の場所にプライバシーマスクを設定することができます。

1 ビューアー上でマウスをドラッグ操作して、プライバシーマスクの範囲を設定する。

2 ［色］リストボックスからマスクの色を選択する。

ご注意
マスクの色はすべてのマスクに共通です。最後に選択した色が設定されます。

3 プライバシーマスク設定欄から登録する番号を選び、［セット］をクリックする。
ビューアー上にマスクが反映されます。

プライバシーマスクの設定範囲

プライバシーマスクの設定範囲は、ユーザーガイドをご参照ください。

パノラマ作成を使う — パノラマ画像を作成する

付属の SNC toolbox のパノラマ作成機能を使うとメインビューアーで使用するパノラマ画像を作成することができます。
このパノラマ画像を使うことにより、メインビューアーで見たい場所をクリックするだけでカメラを移動させることができます。

パノラマ作成を起動する

1 デバイスリストでパノラマ画像を作成するカメラを選択する。

2 ［パノラマ］をクリックする。
パノラマ作成画面が表示されます。

パノラマ作成の使いかた

ビューアー

パノラマ作成を行うと、ビューアーにパノラマ画像が表示されます。
360 度旋回可能なカメラ以外では表示されません。

パンチルト制限

パノラマ画像上でカメラの可動範囲を設定します。
マウスをドラッグして任意の矩形を選択すると、カメラの可動範囲が矩形内に制限されます。作成した矩形を拡大、縮小、移動することもできます。一度作成した矩形を解除するときは、マウスを右クリックまたは、パンチルト制限のチェックをはずしてください。

ご注意

ズーム倍率を上げると、パノラマ画像の端部分は映りにくくなります。

作成

クリックするとパノラマ画像（360° の全体画像）の撮影を開始します。

補足

・パノラマ画像には、マップビューとアークティックビューの 2 つの形式があります。
・パノラマ画像撮影時は、カメラ設定の露出（AE）設定値、ホワイトバランス（WB）設定値は固定になります。あらかじめ、AE と WB をオート設定で基準となる映像にカメラを向けていると、綺麗なパノラマ画像を作成することができます。

開く

パノラマ画像でなく、あらかじめ準備したファイル（Bitmap 形式、JPEG 形式）を使うとき、クリックするとファイルを選択できます。

ご注意

・設定できるのは、マップビューのみです。
・ファイルの画サイズは、横 320 ピクセル、縦 90 ピクセルで作成してください。それ以外のサイズは使用できません。

保存

パノラマ画像をファイルに保存することができます。

ご注意

保存されるのは、マップビューのパノラマ画像のみです。

送信

パノラマ画像を JPEG ファイルにしてカメラに転送します。
マップビューとアークティックビューの両方のパノラマ画像がカメラに転送されます。

パノラマ画像の撮影と送信

1 ［作成］をクリックして撮影を開始する。
パノラマ画像が作成されます。

ご注意

撮影中はカメラの設定や移動などを行わないでください。

2 マップビューのパノラマ画像上でマウスをドラッグして矩形を作成し、カメラの可動範囲を指定する。
矩形を作成した場合、パノラマ画像をカメラに保存すると自動的にカメラの可動範囲が制限されます。

3 ［送信］をクリックして、パノラマ画像をカメラに送信する。

以上の操作で、パノラマ画像がカメラに保存されます。
保存されたパノラマ画像はメインビューアーのパン・チルト制御を行うときに使用することができます。

任意の画像をカメラに保存する

カメラで撮影するパノラマ画像だけでなく、あらかじめ用意した画像をカメラに保存することもできます。
準備する画像には以下の制限事項があります。
・ JPEG 形式または Bitmap 形式であること。
・ 画サイズは、横 320 ピクセル、縦 90 ピクセルであること。
上記の条件に当てはまらない場合はご利用できません。

1 ［開く］をクリックする。
ファイルダイアログが表示されます。

2 準備した画像を選択する。

3 パノラマ画像上でマウスをドラッグして矩形を作成し、カメラの可動範囲を指定する。
矩形を作成した場合、パノラマ画像をカメラに保存すると自動的にカメラの可動範囲が制限されます。

4 ［送信］をクリックして、パノラマ画像をカメラに送信する。

以上の操作で、画像がカメラに保存されます。保存された画像はメインビューアーのパン・チルト制御を行うときに使用することができます。

補足

パノラマ画像は、パノラマ作成で撮影した画像を加工して作る静止画です。カメラを移動したり、カメラの周りのレイアウトを変えたりしたときは、パノラマ画像を作成し直してください。

カスタムホームページを使う — 独自のホームページを設定する

SNC toolbox のカスタムホームページ機能を使うことにより、お客様が作成したホームページをカメラに搭載して閲覧することができます。

ホームページ作成上のご注意

ホームページを作成する際には以下の点に注意してください。
・ ファイル名の長さは拡張子まで含めて 24 文字以内にしてください。
・ 全体のファイル容量は 2.0MB 以内にしてください。
・ 作成したホームページを閲覧するには、ビューアーメニューのレイアウトタブの［ホームページ］で設定してください。

カスタムホームページでホームページをカメラにアップロードする

1 デバイスリストからアップロードする機器を選択する。
複数の機器を同時に選択することもできます。

2 ［カスタムホームページ］をクリックする。
カスタムホームページ画面が表示されます。
注意事項をよく読んでください。

ご注意

お使いになるプロキシサーバーによっては、カメラと正しく通信できない場合があります。その場合は、同一ネットワークセグメント上にカメラを接続するなどして、プロキシサーバーを使わずにカスタムホームページを実行してください。

3 独自に作成したホームページが保存されているフォルダーのパスを入力する。

4 ［アップロード開始］をクリックする。
ホームページファイルのカメラへのアップロードが始まります。

5 ［キャンセル］をクリックしてカスタムホームページを終了する。

音声ファイルの作成とアップロードを使う

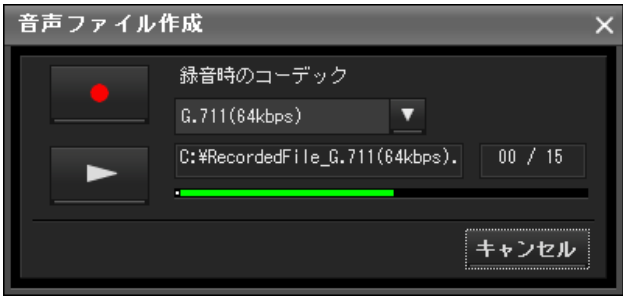
SNC toolbox の音声ファイル機能を使うと音声ファイルを作成したり、デバイスに音声ファイルをアップロードしたりすることができます。

音声ファイル作成を使う

［ツール］メニューから［音声ファイル］、［作成］の順に選択する。
SNC toolbox には、サンプルの音声ファイルが含まれています。それ以外の音声ファイルを新たに作成する場合は、この機能をお使いください。

ご注意

お使いのコンピューターのマイク入力から、録音する音声を入力してお使いください。

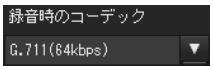


（録音）／（停止）

をクリックすると、コンピューターのマイクに入力された音声の録音を開始します。録音最大時間は 30 秒です。
録音の圧縮方式（コーデック）は、「録音時のコーデック」で選択した方式になります。
音声の録音を終了する時は、をクリックしてください。なお、30 秒経過すると自動的に録音が終了します。
録音が終了すると、音声をファイルとしてコンピューターに保存します。

ご注意

保存するファイル名の長さは、33 文字以内にしてください。



（録音時のコーデック）

録音時のコーデックを以下の形式から選択してください。

形式	帯域
G.711(μ-LAW)	64kbps
G.726	40kbps
G.726	32kbps
G.726	24kbps
G.726	16kbps
AAC	128kbps
AAC	64kbps

（再生）／（停止）

録音後にをクリックすると音声を再生します。
音声の再生を終了する時は、をクリックします。

（音声ファイル表示）

録音、保存された音声ファイル名が表示されます。

（録音／再生プログレスバー）

録音／再生の進捗を確認できます。
録音時は、バーの右上に残り時間が表示されます。
再生時は、バーの右上に現在の再生時間 / 音声ファイルの長さが秒単位で表示されます。

キャンセル

音声ファイル作成画面を閉じます。

音声ファイルを作成する

1 をクリックして音声ファイルを録音する。

2 をクリックして音声ファイルの録音を止める。
または、30 秒経過すると自動的に録音が終了します。
録音が終了すると、音声をファイルとしてコンピューターに保存します。

音声ファイルを確認する

1 をクリックして録音した音声ファイルを再生する。
音声ファイルの確認ができます。

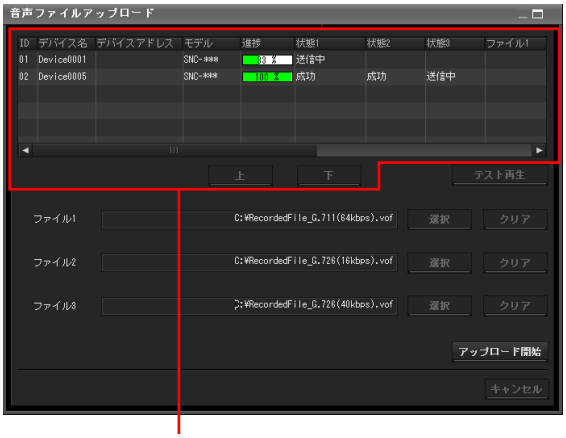
2 をクリックして音声ファイルの再生を停止する。
または、音声ファイルが最後まで再生されると、再生は自動的に終了します。

音声ファイルアップロードを使う

1 デバイスリストから音声ファイルアップロードする機器を選択する。
複数の機器を同時に選択することもできます。

2 マウスを右クリックして表示されるメニューから［音声ファイル］、［アップロード］をクリックする。

音声ファイルアップロード画面が表示されます。



デバイス一覧

補足

音声ファイルアップロード画面は以下の方法で表示することもできます。

・［ツール］メニューから［音声ファイル］、［アップロード］を選択する

デバイス一覧

音声ファイルアップロードをするデバイスが一覧表示されています。

アップロード中にはプログレスバーが表示されます。

状態 1、状態 2、状態 3 欄

状態には以下のものがあります。

空欄：初期状態

[非サポート]：音声ファイルがデバイスに対応していない

[送信中]：音声ファイルのアップロード中

[成功]：アップロード完了

[失敗]：アップロード失敗

[キャンセル]：アップロードキャンセル

現在の状態がファイル番号ごとに表示されます。

画面例

ファイル 1、ファイル 2、ファイル 3 欄

現在デバイスにアップロードされている音声ファイル名が表示されます。なお、デバイスがファイル 2、ファイル 3 に対応していない場合は、＜非対応＞と表示されます。

[上] [下]：アップロードを実行するデバイスの順番を設定できます。

テスト再生

テスト再生画面を表示し、テスト再生を行います。

ファイル

選択されたファイル名が表示されます。

選択

音声ファイル選択画面を表示し、アップロードする音声ファイルを選択します。

クリア

選択した音声ファイルをクリアします。

アップロード開始

音声ファイルのアップロードを開始します。アップロードを開始すると［アップロード停止］に変わります。

キャンセル

［音声ファイルアップロード］を終了します。

ご注意

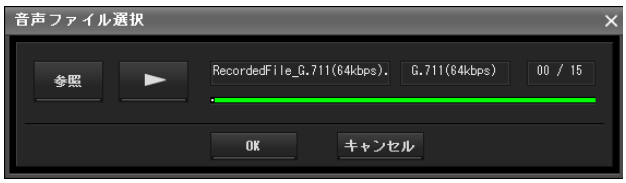
アップロードに失敗した場合は、［ツール］メニューから「ツールログ」を選択し、ログにて詳細をご確認ください。

音声ファイルを選択する

アップロードを行うための音声ファイルを選択、確認するための再生ができます。

［選択］をクリックする。

音声ファイル選択画面が表示されます。



参照

コンピューターに保存されている音声ファイルを読み込みます。

（再生）／ （停止）

音声ファイル読み込み後に、 をクリックすると音声を再生します。音声の再生を終了する時は、 をクリックします。

RecordedFile_G.711(64kbps).（音声ファイル表示）

読み込まれた音声ファイル名が表示されます。

G.711(64kbps) **（音声ファイルコーデック表示）**

読み込まれた音声ファイルのコーデックが表示されます。

（再生プログレスバー）

再生の進捗を確認できます。
バーの右上に現在の再生時間 / 音声ファイルの長さが秒単位で表示されます。

OK

読み込まれた音声ファイルを選択し、音声ファイル選択画面を閉じます。

キャンセル

音声ファイルを選択せずに音声ファイル選択画面を閉じます。

音声ファイルを読み込む

［参照］をクリックして、コンピューターに保存されている音声ファイルを選択します。
選択されたファイル名はテキストボックスに表示されます。

音声ファイルを確認する

1 ► をクリックして選択した音声ファイルを再生する。
音声ファイルの確認ができます。

2 ■ をクリックして音声ファイルの再生を止める。
または、音声ファイルが最後まで再生されると、再生は自動的に終了します。

音声ファイルを選択する

［OK］をクリックすると、読み込まれた音声ファイルが選択されます。
［キャンセル］をクリックすると、ファイルは選択されずに音声ファイル選択画面を閉じます。

音声ファイルをアップロードする

音声ファイルをデバイスにアップロードします。

音声ファイルをアップロードする

［アップロード開始］をクリックして、選択されたすべての音声ファイルをデバイスにアップロードします。

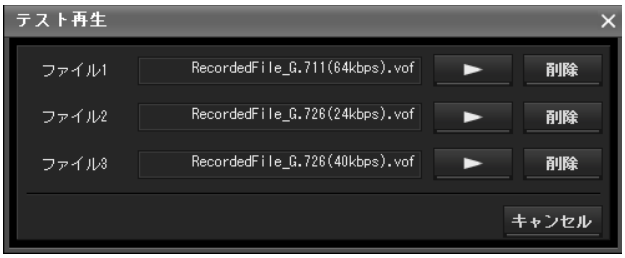
ご注意

・アップロードを中止する場合は、［アップロード停止］をクリックしてください。ただし、音声ファイルのアップロードをし始めたデバイスは、そのファイルのアップロードが終了するまで中止できません。
・既にアップロードされている音声ファイルは上書きされます。ファイルが選択されていない場合、［アップロード開始］をクリックしても、デバイスの該当する番号のファイルは削除されません。
・アップロードに失敗した場合は、［ツール］メニューから「ツールログ」を選択し、ログにて詳細をご確認ください。

アップロードされた音声ファイルをテスト再生・削除する

アップロードされた音声ファイルをデバイスからテスト再生したり、削除したりすることができます。

デバイス一覧からデバイスを一つ選択し、［テスト再生］をクリックする。
テスト再生画面が表示されます。



RecordedFile_G.711(64kbps).vof **（アップロード音声ファイル表示）**

アップロードされた音声ファイル名が表示されます。

► **（テスト再生）**

アップロードされた音声ファイルをデバイス上でテスト再生します。

削除

アップロードされた音声ファイルを削除します。

ご注意

・デバイス一覧から複数のデバイスを選択した場合、テスト再生はお使いになれません。
・テスト再生を行う場合は、デバイスのオーディオアウトにスピーカーが接続されていることを確認してください。

テスト再生する

► をクリックして、デバイスにアップロードされた音声ファイルを 1 度だけテスト再生する。

音声ファイルを削除する

［削除］をクリックして、デバイスにアップロードされた音声ファイルを削除する。

ファームウェアアップグレードを使う

SNC toolbox のファームウェアアップグレード機能を使うとデバイスのファームウェアを更新することができます。

ファームウェアアップグレード画面を表示する

1 デバイスリストでファームウェアアップグレードをする機器を選択する。
複数の機器を同時に選択することもできます。

2 マウスを右クリックして表示されるメニューから［ファームウェアアップグレード］をクリックする。
ファームウェアアップグレード画面が表示されます。

補足

ファームウェアアップグレード画面は以下の方法で表示することもできます。
・［ツール］メニューから［ファームウェアアップグレード］を選択する

端末一覧

アップグレードをする機器を選択します。
アップグレード中にはプログレスバーが表示されます。
ステータス欄には、ステータスが表示されます。

モジュール一覧

モジュール一覧からアップグレードを行うモデルの右側の［参照］ボタンをクリックするとダイアログが表示されます。ダイアログから対象の SVU ファイルを選択します。
1 つのモデルに対して 1 つのファイルを選ぶことができます。

アップグレードする

1 ［上］、［下］でアップグレードを実行するデバイスの順番を設定する。

2 ［参照］をクリックし、それぞれのモデルのアップグレードファイルを選択する。

3 ［同時実行数］で何台のデバイスのアップグレードを行うのか選択する。

4 デバイスの設定をバックアップする場合は、［設定をバックアップ］をチェックする。

補足

［ツール］メニューの［オプション］にある［一般］タブで［設定ファイルのバックアップ先］が指定できます。

5 ［アップグレード開始］をクリックする。
アップグレードが始まります。

ご注意

・アップグレードを中止する場合は、［アップグレード停止］をクリックしてください。
デバイスを保護するために、アップグレードし始めたいくつかのデバイスは、アップグレードが終了するまでアップグレードを中止することができません。
・デバイスがアップグレード後に再起動するまで電源を切らないでください。

CGI 送信を使う

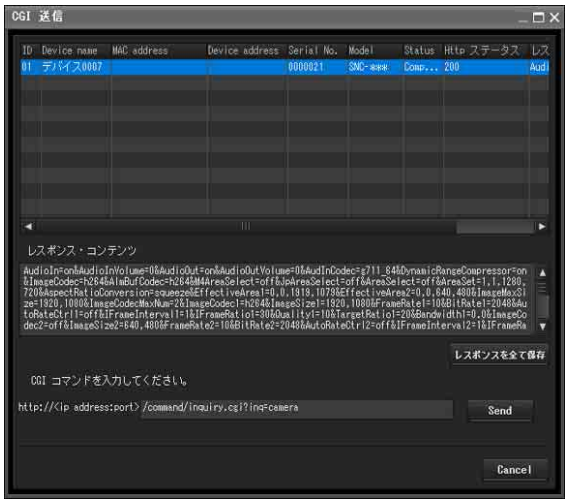
SNC toolbox の CGI 送信機能を使うとデバイスに CGI を送信することができます。

CGI 送信の使い方

1 デバイスリストから CGI 送信をする機器を選択する。

2 マウスを右クリックして表示されるメニューから［CGI 送信］をクリックする。

CGI 送信画面が表示されます。



3 CGI コマンド欄にコマンドを入力する。

4 ［Send］をクリックする。
選択したデバイスに［ID］の昇順で CGI コマンドを送信します。

5 送信完了後、［レスポンスを全て保存］をクリックする。リストの中で CGI 送信が完了したすべてのデバイスの［レスポンス・コンテンツ］を csv 形式で保存します。

スケジュールタスクを使う

時間または間隔を指定して、デバイス設定を変更させたり、ファームウェアアップグレードを実行したりことができます。
［タスク］をクリックすると実行予定のタスクリストが表示されます。

タスクリスト
実行予定のタスク一覧が表示されます。

追加
タスクウィザードを表示します。

修正
タスクの編集ができます。

削除
タスクを削除できます。

詳細
タスクの詳細を表示します。

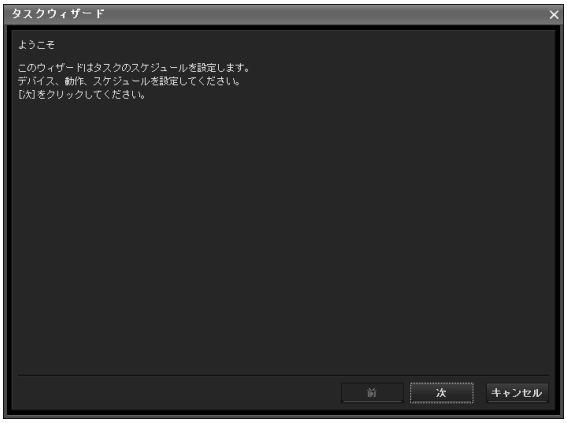
開始
タスクを予約状態にします。

停止
タスクの予約状態を停止させることができます。

キャンセル
タスクリストを閉じます。

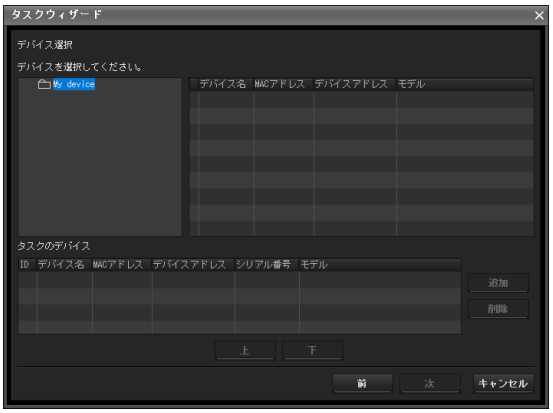
タスクを作成する

1 ［追加］をクリックする。
［タスクウィザード］が表示されます。



2 ［次］をクリックする。

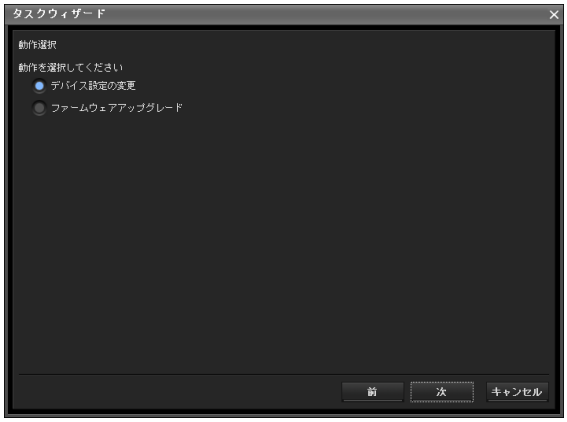
3 タスクを設定するデバイスを選択する。
マイデバイスに登録したデバイスの一覧が表示されます。タスクを設定したいデバイスをマイデバイスリストから選択してタスクのデバイスリストに登録してください。



[マイデバイス]：マイデバイスに登録したカメラの一覧表示
[タスクのデバイス]：タスクを実行させるデバイスの一覧表示
[追加]：タスクのデバイスにデバイスを登録する。
[削除]：タスクのデバイスからデバイスをはずす。
[上] **[下]**：タスクのデバイス内のデバイスの順序を変更する。

4 ［次］をクリックする。

5 タスクの動作を選択する。
［デバイス設定の変更］か［ファームウェアアップグレード］のどちらかを選択してください。



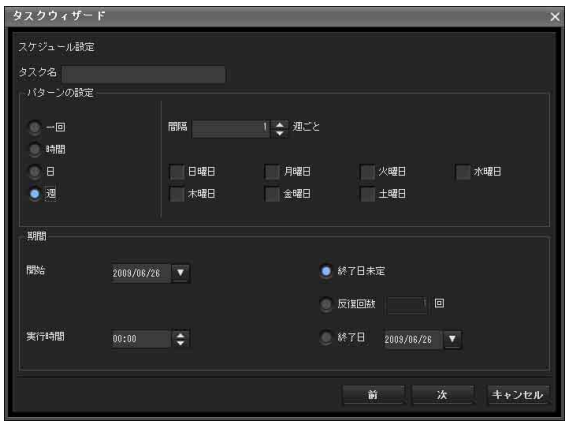
6 ［次］をクリックする。

［デバイス設定の変更］の場合
変更させたい値に設定してください。
値の変更については、「デバイス設定をする」（23 ページ）をご覧ください。
［次］をクリックすると、設定変更の確認画面が表示されます。内容が正しいか確認してください。修正が必要な場合は、［前］をクリックして前の画面に戻り、やり直してください。

［ファームウェアアップグレード］の場合
アップグレードさせたいデバイスのファームを設定してください。
ファームウェアの設定については、「ファームウェアアップグレードを使う」（20 ページ）をご覧ください。

7 ［次］をクリックする。

8 スケジュールを設定する。



タスク名
タスクに名前を付けます。

パターンの設定
動作間隔を決めます。
[1 回]：一度だけ動作させます。
[時間]：1 時間単位で動作頻度を指定します。（設定可能値：1 ～ 99）
[日]：1 日単位で動作頻度を指定します。（設定可能値：1 ～ 99）
[週]：1 週単位と曜日で動作頻度を指定します。（設定可能値：1 ～ 99）

期間
開始と終了日時を指定します。
[開始]：開始日を選択します。
[実行時間]：開始時刻を設定します。
[終了日未定]：終了期間を設定しません。
[反復回数]：動作回数を指定します。
[終了日]：終了日を指定します。

9 ［次］をクリックする。
タスクの設定の最終確認画面が表示されるので確認してください。
修正が必要な場合は、［前］をクリックして前の画面に戻り、やり直してください。

10 ［終了］をクリックする。

デバイス設定をする

デバイス設定画面でデバイスの詳細設定を行うことができます。
デバイスリストでデバイスを選択し（複数選択可）、［ツール］メニューから［デバイス設定］を選択するか、機器選択画面でマウスを右クリックし表示されるメニューから［デバイス設定］をクリックすると、デバイス設定画面が表示されます。

画面例

設定ツリー

すべての設定はカテゴリに分類されています。＋をクリックするとカテゴリ内のサブカテゴリが表示されます。－をクリックするとサブカテゴリが非表示になります。
サブカテゴリを選択すると画面の右側に設定項目が表示されます。

項目

設定項目が表示されます。行を選択するとその値の変更ができるようになります。

値

項目の値を表示します。選択または入力すると値の変更ができます。

説明

設定を行うための値の範囲、補足説明を表示します。

OK

設定を適用し、デバイス設定画面を閉じます。SNC toolbox のメイン画面が表示されます。

キャンセル

設定を変更せずにデバイス設定画面を閉じます。SNC toolbox のメイン画面が表示されます。

適用

設定を適用します。

各設定について

それぞれの設定方法は、ユーザーガイドを参照してください。

デバイスの再起動と初期化

選択（複数選択可）したデバイスに対して、再起動と初期化（工場出荷状態に戻す）を行うことができます。

デバイスを再起動する

メニューバーから［ツール］、［デバイス初期化］、［再起動］の順にクリックすると、デバイスを再起動できます。

デバイスを初期化する

メニューバーから［ツール］、［デバイス初期化］、［工場出荷設定］の順にクリックすると、デバイスを初期化します（工場出荷状態に戻す）。

SNC toolbox のインストール方法

1 以下のサイトより任意のフォルダーにSNC toolbox のインストーラーをダウンロードしてください。
http://www.sony.net/ipela/snc

2 ダウンロードしたインストーラーのZIPファイルを解凍する。

3 「SncToolbox_Setup.exe」を起動する。

4 画面に表示されるウィザードに従って「SNC toolbox」をインストールする。
使用許諾に関する文面が表示されたら、よくお読みいただき、同意の上、インストールを行ってください。

補足

インストールは管理者権限で行ってください。

5 「Finish」を選択すると、インストールが完了します。

SNC audio upload tool を使う

SNC audio upload tool を使うことにより，お使いのコンピューターに接続したマイクからカメラに音声を送信したり、音声ファイル再生機能用の音声ファイルをカメラにアップロードしたりすることができます。

送信する音声データは以下の形式をサポートしています。

形式	帯域
G.711(μ-LAW)	64kbps
G.726	40kbps
G.726	32kbps
G.726	24kbps
G.726	16kbps
AAC	128kbps
AAC	64kbps

ご注意

- カメラに音声を送信できるのは 1 人だけです。したがって、2 人目以降の人が SNC audio upload tool を使ってカメラにアクセスしても音声を送信することはできません。
- プロキシサーバーを設定している場合、音声ファイルをカメラにアップロードできないことがあります。アップロードできなかった場合は、プロキシサーバーを使用しない設定に変更してください。
- お使いのコンピューターにパーソナルファイアウォールソフトウェアや、アンチウイルスソフトウェアなどを使用している場合、SNC audio upload tool が正しく動作しないことがあります。このような場合は、該当のソフトウェアを無効にしてください。
- Windows XP Service Pack 2 以降、Windows Vista、Windows 7、または Windows 8 をご利用の場合は、「Windows ファイアウォール機能」を［無効］にしないと SNC audio upload tool が正常に動作しません。設定のしかたは、「Windows Vista をご利用の場合－ Windows ファイアウォールの設定について」（29 ページ）、「Windows 7 をご利用の場合－ Windows ファイアウォールの設定について」（30 ページ）、または「Windows 8 をご利用の場合－ Windows ファイアウォールの設定について」（31 ページ）をご覧ください。

SNC audio upload tool をインストールする

画面に表示されるウィザードに従って「SNC audio upload tool」をインストールする。
使用許諾に関する文面が表示されたら、よくお読みいただき、同意の上、インストールを行ってください。

カメラとコンピューターを接続する

1 カメラの (ライン出力）端子にスピーカーを接続する。

2 コンピューターのマイク端子にマイクを接続する。

ご注意

コンピューターによってはマイク端子の設定が適切に設定されていない場合があります。この場合、無音データが送信されてカメラに接続したスピーカーからは音が出ません。
Windows のコントロールパネルから、マイク端子を次のように設定してください。

Windows XP の場合

1 コントロールパネルの［サウンドとオーディオデバイス］を選択する。

2 ［オーディオ］タブの［録音］欄にある［音量］ボタンをクリックする。
［録音コントロール］パネルが表示されます。

3 ［マイク］欄の［選択］チェックボックスを有効にする。

Windows Vista、Windows 7、Windows 8 の場合

マイク端子の設定はありません。
録音できない場合は、マイクデバイスを PC 本体に接続した状態で、録音デバイスが正常に動作しているか確認してください。

1 コントロールパネルの［サウンド］を選択する。

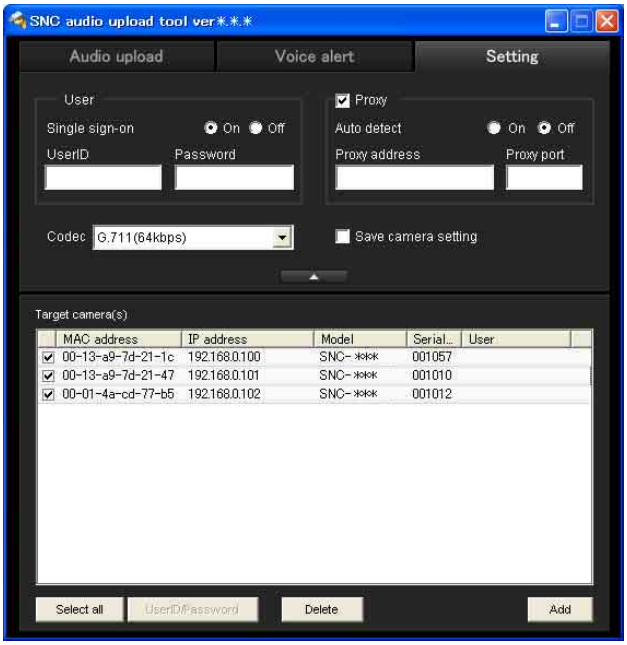
2 ［録音］タブを選択して、ハードウェアが正常に認識されていることを確認する。

SNC audio upload tool の使いかた

SNC audio upload tool を起動すると Setting タブが表示されます。

Setting タブ

コンピューターからカメラに音声を送信したり、音声ファイルをアップロードしたりするためにカメラの設定を行います。



User

カメラと通信するための管理者用ユーザー ID とパスワードを設定します。

Single sign-on：すべてのカメラに対して同じユーザー ID とパスワードを使用する場合、［On］にします。カメラごとに設定を行いたい場合は［Off］にします。［Off］にした場合の設定については、カメラリストの「User ID/Password」（26 ページ）をご覧ください。

User ID：Single sign-on を［On］にしたとき入力可能になります。ここに入力された管理者用ユーザー ID がすべてのカメラに適用されます。

Password：Single sign-on を［On］にしたとき入力可能になります。ここに入力された管理者用パスワードがすべてのカメラに適用されます。

Proxy

通信を行うときにプロキシサーバーを使用する場合は、この項目をチェックしてください。チェックしない場合はカメラと直接通信を行います。

Auto detect：［On］を選択すると、プロキシ設定を Internet Explorer の設定から自動取得します。

Proxy address：プロキシサーバーの IP アドレスまたはホスト名を入力します。

Proxy port：プロキシサーバーと通信するためのポート番号を入力します。

ご注意

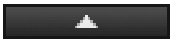
Proxy 設定はすべてのカメラで使用されます。カメラごとに Proxy の設定をすることはできません。

Codec

リストボックスから音声モード（Codec）を選択します。

Save camera setting

チェックすると、カメラリストを含めた Setting タブの状態を記憶します。次回起動時に、同じ設定で起動します。



クリックするとカメラリストを非表示にできます。もう一度クリックするとカメラリストが表示されます。

Target camera(s)（カメラリスト）

アプリケーションの起動時に、同一ネットワークセグメント上のソニー製ネットワークカメラを自動的に検索してカメラリストに表示します。表示可能なカメラの数は最大 256 台です。

左端にあるチェックボックスをチェックすると、同時に複数のカメラに対して音声を送信したり、音声ファイルをアップロードしたりすることができます。

ご注意

・アプリケーション起動後に、同一ネットワークセグメントに接続したカメラは表示されません。
・音声機能を持たないネットワークカメラは表示されません。

カメラ選択チェックボックス：左端のチェックボックスです。音声を送信したり、音声ファイルをアップロードしたりするカメラをチェックします。

MAC address：ネットワークカメラの MAC アドレスが表示されます。

IP address：ネットワークカメラの IP アドレスが表示されます。IP アドレスが DHCP サーバーにより設定されている場合は、IP アドレスの後ろに DHCP と表示されます。

Model：ネットワークカメラのモデル名が表示されます。

Serial：ネットワークカメラのシリアル番号が表示されます。

User：設定したユーザー ID とパスワードが表示されます。パスワードは読めないようになっています。

Select all

カメラリストに表示されているすべてのカメラを選択するときクリックします。すべてのカメラをリストから削除する場合や、すべてのカメラに同じユーザー ID、パスワードを設定するときに使います。

User ID/Password

選択したカメラに通信するためのユーザー ID、パスワードを設定するときに使います。
カメラリストから設定したいカメラをクリックして選択し、このボタンをクリックすると、次のダイアログが開きます。
管理者用ユーザー ID とパスワードを入力して［OK］をクリックします。

ご注意

カメラリストで、複数のカメラを選択した場合は、選択したカメラすべてに対して同じユーザー ID とパスワードが入力されます。

Add

カメラリストにないネットワークカメラを手動でリストに加えることができます。このボタンをクリックすると、次のダイアログが開きます。
追加したいカメラの IP アドレスとポート番号を設定して［OK］をクリックします。

ご注意

・すでにカメラリスト上に存在する IP アドレスや、ネットワークカメラではない IP アドレス、ネットワーク上に存在しない IP アドレスを入力するとエラーダイアログが表示されます。
・カメラリストに最大数の 256 台が表示されているときは、新しいカメラを追加できません。

Delete

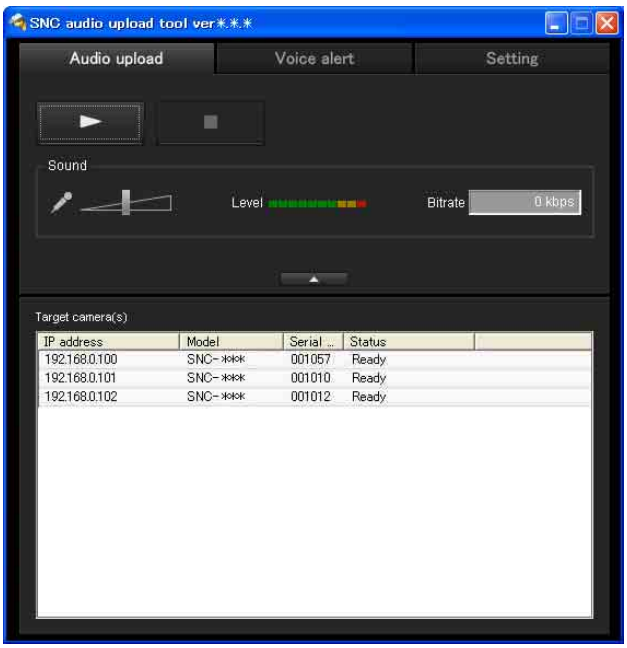
選択したカメラをカメラリストから削除するときクリックします。

タブ移動時のご注意

Setting タブから Audio upload タブや Voice alert タブへ移動する際にエラーが発生するとそのカメラは赤く表示されます。このときはカメラの設定やユーザー名やパスワードの設定をもう一度確認してください。

Audio upload タブ

コンピューターからカメラに音声を送信するときに使います。カメラリストに表示されているカメラに音声を同時に送信できます。
カメラに音声を送信する場合、あらかじめ、カメラメニューの共通タブで、［オーディオアップロード］を［有効］に設定してください。



(スタート) ／ (ストップ)

をクリックすると音声通信が始まります。通信中は Bitrate（ビットレート）欄に通信速度が表示されます。使用環境に合わせて、マイク音量や消音機能を調整してください。
音声の送信を終わるときは、をクリックします。

ご注意

・通信中にタブを切り換えると音声通信は停止します。

・ネットワークメニューの［IP アドレス］で［IP アドレスを自動的に取得する（DHCP）］が選択されているときは、IP アドレスが変更になった際に音声が途切れることがあります。
・多数のカメラに音声を同時に送信すると、音声が途切れることがあります。

Sound 調整と表示

スライドバーでマイク入力の音量を調整します。音声送信中でも調整可能です。
をクリックすると、消音のオン／オフを切り換えることができます。
Level 欄には、マイク入力の音量レベルが表示されます。
Bitrate 欄には、現在の通信速度が表示されます。

クリックするとカメラリストを非表示にできます。もう一度クリックするとカメラリストが表示されます。

Target camera(s)（カメラリスト）

Setting タブのカメラリストにあるカメラ選択チェックボックスで選択されたカメラが表示されます。
選択されているカメラの情報や状態を確認することができます。

IP address：ネットワークカメラの IP アドレスが表示されます。IP アドレスが DHCP サーバーにより設定されている場合は、IP アドレスの後ろに DHCP と表示されます。

補足

・SSL 通信が行われているカメラは IP アドレスの左側に が表示されます。
・中国向けに販売されているモデルには SSL 機能は搭載されていません。

Model：ネットワークカメラのモデル名が表示されます。
Serial：ネットワークカメラのシリアル番号が表示されます。
Status：現在の状態を示しています。状態には以下のものがあります。
[Ready]：未接続で待機中
[Connected]：接続完了
[Fault]：接続処理に失敗したとき
[Sending]：音声データの送信中

Voice alert タブ

コンピューターに接続したマイクを使って音声を録音し、録音した音声ファイルをカメラにアップロードするときに使います。アップロードしたいカメラをカメラリストから選択すると、複数のカメラに音声ファイルを同時にアップロードできます。

（再生）

録音後、または音声ファイルを開いた後、クリックすると音声を再生します。録音した音声や選択した音声ファイルの確認をすることができます。再生するにつれ、プログレスバーの表示が進みます。

（停止）

録音または再生を停止します。
録音中にクリックすると、録音を停止し、そこまでの音声を再生して確認したり、カメラにアップロードしたりすることができます。
再生中にクリックすると、再生が中断され、プログレスバーの表示が開始位置に戻ります。

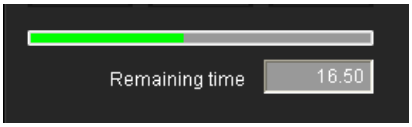
（録音）

コンピューターのマイクに入力された音声の録音を開始します。録音最大時間は 30 秒です。
録音の圧縮方式（コーデック）は Setting タブの Codec で選択した音声モードになります。
録音したファイルは「RecordedFile.vof」と表示されます。

ご注意

・録音中や再生中にタブを切り換えると録音や再生は停止します。
・録音したファイルはコンピューターには保存されません。

録音／再生プログレスバー



録音／再生の進捗を確認することができます。
録音時は右端まで行くと 30 秒です。録音時は、バーの下に残り時間が表示されます。
再生時は、録音されている時間が最大表示となります。

（ファイルオープン）

すでに保存されている音声ファイルを選択します。ここで選択した音声ファイルを再生して確認したり、カメラにアップロードしたりすることができます。

（保存）

録音した音声をファイルとしてコンピューターに保存します。

音声ファイル再生番号選択

アップロードする音声ファイル再生の番号を指定します。
音声ファイル再生 1 なら［ 1 ］を選択します。
番号の右には、現在カメラにアップロードされている音声ファイル名が表示されます。
音声ファイルがカメラにアップロードされていない場合は「Not uploaded」と表示されます。
（録音）を使って録音し、コンピューターに保存されていない音声ファイルをアップロードした場合、音声ファイル名は「RecordedFile」＋「音声ファイル再生番号」＋「.vof」になります。

ご注意

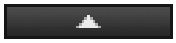
表示されるファイル名は、カメラリストで選択されているカメラのファイル名です。アップロードされているファイル名を確認したいカメラをクリックすると、この欄に表示されます。

（アップロード）

録音した音声ファイル、または選択した音声ファイルを Setting タブで指定したカメラにアップロードします。
アップロードできるファイルは 1 回に 1 つのみです。

ご注意

カメラに音声ファイルがアップロードされている場合、新たに音声ファイルをアップロードすると上書きされます。



クリックするとカメラリストを非表示にできます。もう一度クリックするとカメラリストが表示されます。

Target camera(s)（カメラリスト）

Setting タブのカメラリストにあるカメラ選択チェックボックスで選択されたカメラが表示されます。
選択されているカメラの情報や状態を確認することができます。

IP address：ネットワークカメラの IP アドレスが表示されます。IP アドレスが DHCP サーバーにより設定されている場合は、IP アドレスの後ろに DHCP と表示されます。

補足

- SSL 通信が行われているカメラは IP アドレスの左側に が表示されます。
- 中国向けに販売されているモデルには SSL 機能は搭載されていません。

Model：ネットワークカメラのモデル名が表示されます。
Serial：ネットワークカメラのシリアル番号が表示されます。
Progress：音声ファイル送信の進捗状況が表示されます。
Status：現在の状態を示しています。状態には以下のものがあります。

- **[Ready]**：未接続で待機中
- **[Inquiry]**：カメラに情報を問い合わせ中
- **[No func]**：Voice alert 機能に対応していない機種のとき
- **[Uploading]**：音声ファイルのアップロード中
- **[Fault]**：音声ファイルのアップロードに失敗したとき
- **[No Privilege]**：権限が与えられていないため音声ファイルをアップロードできません。
- **[Succeeded]**：音声ファイルのアップロードに成功したとき

録音した音声ファイルをカメラにアップロードするには

補足

操作する前に、音声ファイルの作成とアップロードするカメラの設定が必要です。あらかじめ Setting 画面でカメラを設定してください。

1 Voice alert タブの（録音）をクリックして録音を開始する。

2 （停止）をクリックして録音を止める。
または、30 秒経過すると自動的に録音が終了します。

3 音声ファイル再生番号を選択する。

4 （アップロード）をクリックしてカメラに音声ファイルを送信する。

録音した音声ファイルをコンピューターに保存するには

1 Voice alert タブの（録音）をクリックして録音を開始する。

2 （停止）をクリックして録音を止める。
または、30 秒経過すると自動的に録音が終了します。

3 （保存）をクリックする。
「ファイル保存」ダイアログが表示されますので、ファイル名を指定して保存します。

保存した音声ファイルをカメラにアップロードするには

1 Voice alert タブの（ファイルオープン）をクリックし、アップロードする音声ファイルを選択する。

2 音声ファイル再生番号を選択する。

3 （アップロード）をクリックし、カメラに音声ファイルを送信する。

ファイアウォールを設定する

Windows Vista をご利用の場合

Windows ファイアウォールの設定について

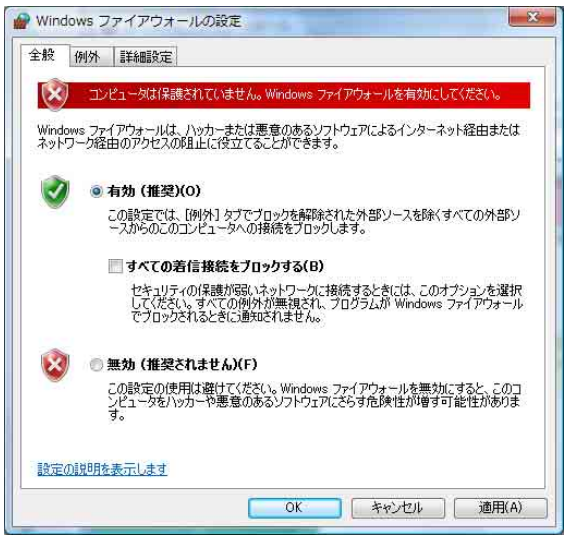
Windows ファイアウォールの設定によっては、SNC toolbox または SNC audio upload tool が正常に動作しない場合があります。（リスト上にカメラが 1 台も検出されないように見えます。）この場合、次のように Windows ファイアウォールの設定を確認してください。

1 Windows の［スタート］メニューから［設定］、［コントロールパネル］を選択する。

2 ［Windows ファイアウォール］をクリックする。

3 「Windows ファイアウォールの有効化または無効化」を選択する。
「ユーザーアカウント制御　（続行するにはあなたの許可が必要です）」メッセージが表示されることがあります。この場合は、「続行」をクリックしてください。

4 ［全般］タブで［無効］を選択する。

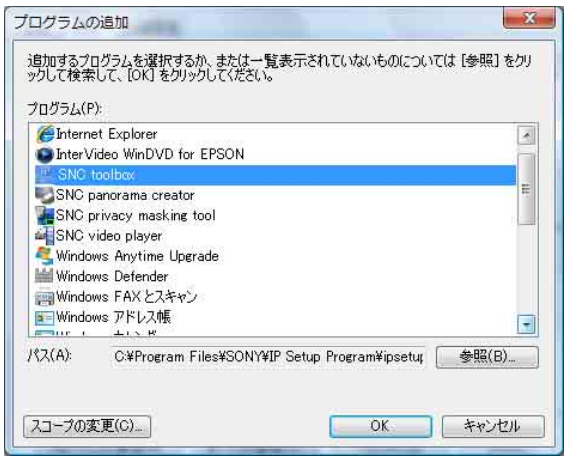


これでリスト上にカメラが表示されるようになります。
［有効］のままご使用になりたい場合は、引き続き、次の設定を行ってください。

5 ［例外］タブを選択する。

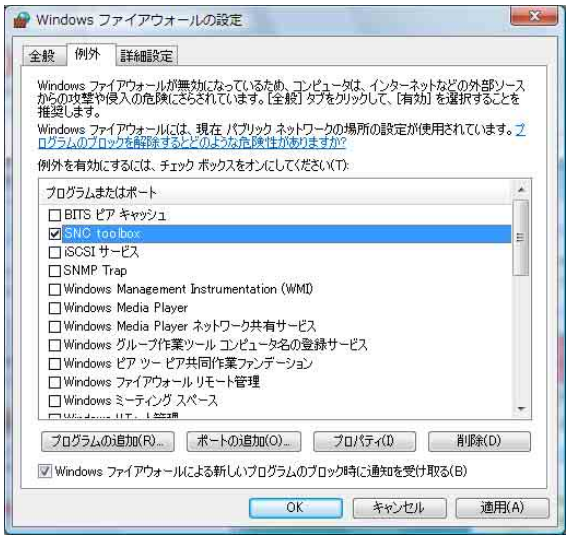
6 ［プログラムの追加］を選択する。

7 プログラムの追加ダイアログが表示されたら、SNC toolbox または SNC audio upload tool を選択して［OK］をクリックする。



これで「プログラムまたはポート」リストに、選択した SNC toolbox または SNC audio upload tool が追加されます。

8 「OK」をクリックする。



以上の設定が完了すると、SNC toolbox または SNC audio upload tool 上にネットワーク上のカメラが表示されます。

Windows 7 をご利用の場合

Windows ファイアウォールの設定について

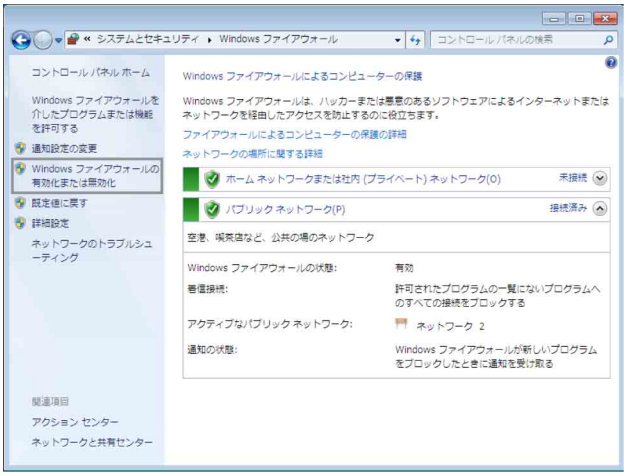
Windows ファイアウォールの設定によっては、SNC toolbox または SNC audio upload tool が正常に動作しない場合があります。（リスト上にカメラが 1 台も検出されないように見えます。）この場合、次のように Windows ファイアウォールの設定を確認してください。

Windows ファイアウォールを無効にしてご使用になる場合

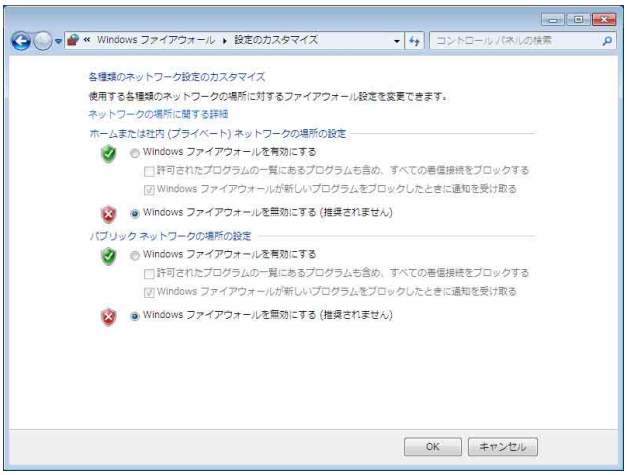
1 Windows の［スタート］メニューから［コントロールパネル］、［システムとセキュリティ］を選択する。

2 ［Windows ファイアウォール］をクリックする。

3 ［Windows ファイアウォールの有効化または無効化］をクリックする。



4 ［Windows ファイアウォールを無効にする］を選択する。



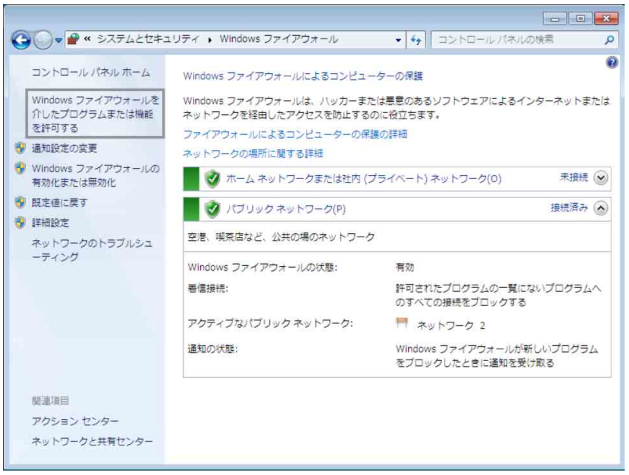
これでリスト上にカメラが表示されます。

Windows ファイアウォールを有効のままご使用になる場合

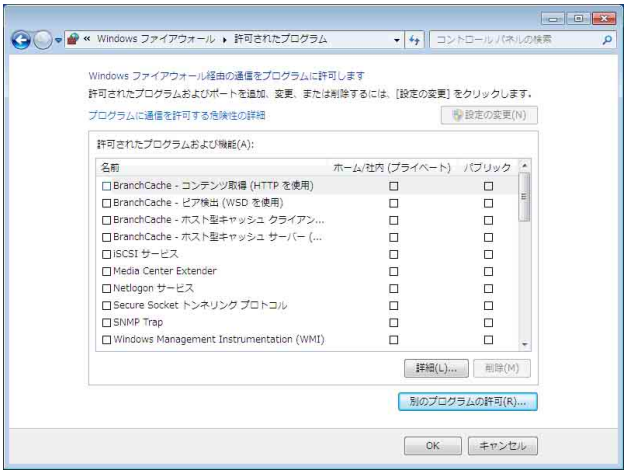
1 Windows の［スタート］メニューから［コントロールパネル］、［システムとセキュリティ］を選択する。

2 ［Windows ファイアウォール］をクリックする。

3 ［Windows ファイアウォールを介したプログラムまたは機能を許可する］をクリックする。



4 ［別のプログラムの許可］を選択する。



5 プログラムを追加する。

以上の設定が完了すると、SNC toolbox または SNC audio upload tool 上にネットワーク上のカメラが表示されます。

Windows 8 をご利用の場合

Windows ファイアウォールの設定について

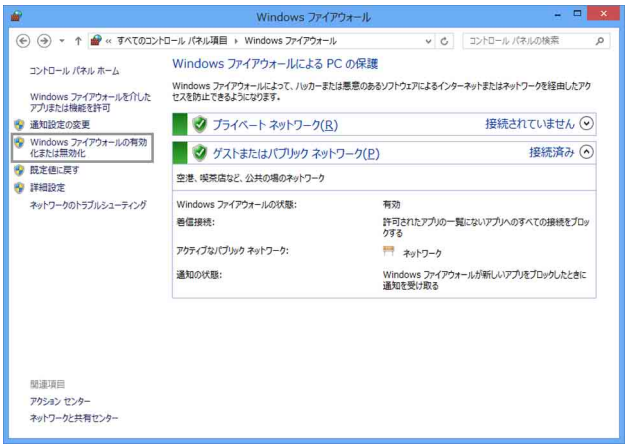
Windows ファイアウォールの設定によっては、SNC toolbox または SNC audio upload tool が正常に動作しない場合があります。（リスト上にカメラが 1 台も検出されないように見えます。）この場合、次のように Windows ファイアウォールの設定を確認してください。

Windows ファイアウォールを無効にしてご使用になる場合

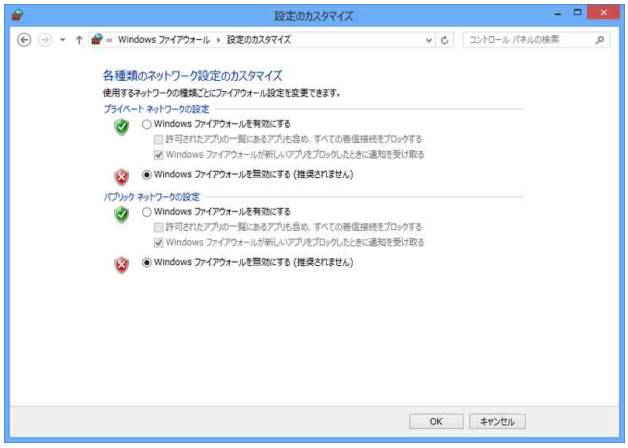
1 「Windows」キーを押しながら「X」キーを押し、表示された一覧から「コントロール パネル」、［システムとセキュリティ］を選択する。

2 ［Windows ファイアウォール］をクリックする。

3 ［Windows ファイアウォールの有効化または無効化］をクリックする。



4 ［Windows ファイアウォールを無効にする］を選択する。



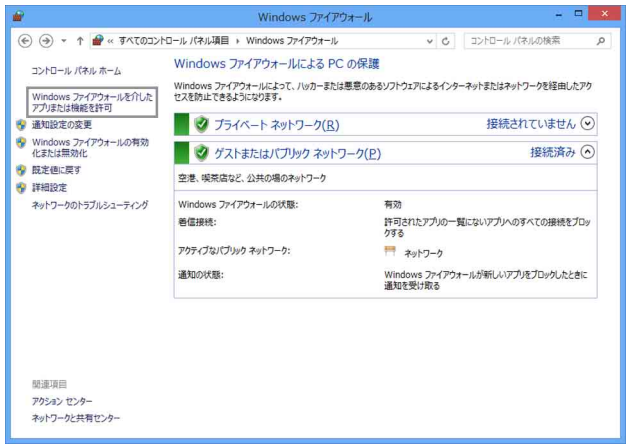
これでリスト上にカメラが表示されます。

Windows ファイアウォールを有効のままご使用になる場合

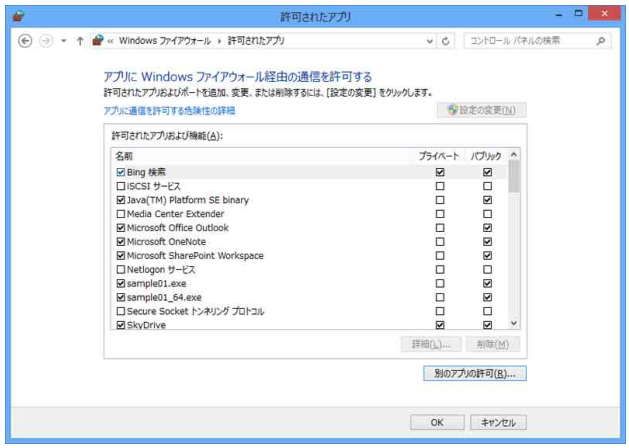
1 「Windows」キーを押しながら「X」キーを押し、表示された一覧から「コントロール パネル」、［システムとセキュリティ］を選択する。

2 ［Windows ファイアウォール］をクリックする。

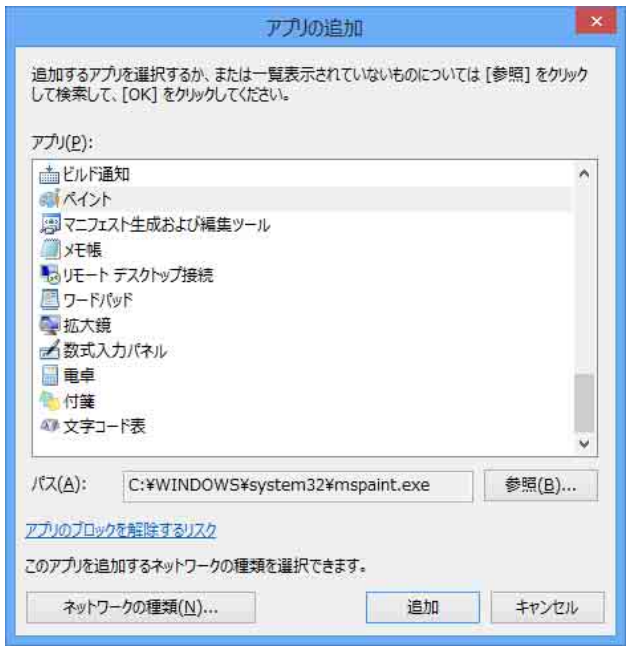
3 ［Windows ファイアウォールを介したアプリまたは機能を許可する］をクリックする。



4 ［別のアプリの許可］を選択する。



5 アプリを追加する。



以上の設定が完了すると、SNC toolbox または SNC audio upload tool 上にネットワーク上のカメラが表示されます。

お問い合わせは
「ソニー業務用商品相談窓口のご案内」にある窓口へ

ソニー株式会社　〒108-0075　東京都港区港南1-7-1

http://www.sony.co.jp/